



## WORK

# GNOSIS FMB01

## さらなる飛躍に挑戦する コンケイブデザインの意欲作

ワークが誇る大人気ブランド、グノシス・シリーズの最高峰FCVと並ぶFMBに注目サイズが加わった。走りをもっと深く鍛造削り出し製法と、極限のコンケイブ様式美が融合したこの追加サイズモデル、前評判も上々だ。

リポート| 堀口 剛 | S.Horiguchi | フォト| 白谷 賢 | K.Shiratori

取材協力 ワーク <https://www.work-wheels.co.jp>



### 走りもルックスも兼ね備えた 鍛造削り出し1ピースモデル

コストパフォーマンス高く鍛造ルックスを求めることができるブランドとして高い人気を誇るグノシス。国産車はもちろん輸入車乗りからも好意されているが、そんなグノシス人気を牽引する旗艦ブランド、FMB（フォージドモノブロック）の存在があってこそ、シリーズ全体が徐々に照り映えているのは紛れもない事実といえる。

得意とするマルスポーズやエモーション系統に代表される鍛造ワンピースの存在ばかりがクローズアップされがちなかちあって、同銘柄はまさしく異色の存在であり、鍛造削り出しホイールが決して北米ブランドをはじめとする一部の特権製法ではないことを宣言した。いわばワークの鍛造、鍛造ともに秀でた開発技術と心意気を示す入魂作なのだ。

現状、グノシス銘柄はFMB01のみが

ら、走りもルックスも超超賢識に磨きたいストリート系ユーザーの切なる声を受け、初春の東京オートサロンで20インチの追加を発表。そして今夏に同社が設定する20インチワンピースモデル初となる待望のウルトラディープコンケイブが設定されるなど、BMWパフォーマンス一重連の詳細が与えられている。

事実、リムに向かって素直に伸びる放射状の10本スポークは、陰影に富んだ彫り深い表情を浮かべていて、いかにもプレミアムな質感を訴求。また、小振りなセンターパートへ急激に落ち込んでいく様子は、前後でリム幅の異なるBMWだからこそ欲しい圧倒的な存在感を足元から響き出しているのだ。

それでありながら、機能性も申し分なく高強度・高剛性をきちんと担保しており、メイドインジャパンならではの信頼と安心も相まって、スペックを落とさずして薄身のカスタマイズに挑むことができるとすれば、北米系

削り出しホイールから乗り換える向きも多数生まれてくるでなないと思われる。

M4におけるワークの推奨サイズは前後9.0Jx20+25、10Jx20+40というセットアップならば、超低空車高さえ履けばストリートを席巻できそうなウルトラディープコンケイブサイズもインポート可能。ワークというストリートチューナー御用ブランドに求めるエッジ感とその醍醐味は、BMWのセオリーを易々と超えるハードコア派こそ享受できる、とひとや言付け加えておこう。

実際、ワーク製品を管理する気鋭のBMWプロショップ、水元代車庫のデックエムもこの追加サイズには興味津々の様子で、タイヤを含むわずかな重畳がかえって四股に安定感をもたらし、ひいては高速走行時におけるノーマルのバグつきを抑制してくれるのではないかと期待を寄せた。20インチの設定は、M3/M4乗りにとって福音ともなる。



SPECIAL THANKS : TECH-M

水元代車庫が手掛けた入魂のデモカーM4にもグノシスFMB01が巻かれており、すでに数多くのフリック試乗を記しているのだ。

### WORK FORGED MONOBLOCK GNOSIS FMB01

TYPE	SIZE	INSET	H/P.C.D	WEIGHT	PRICE
DC	19x9.5	42/35/23	5/120	—	¥152,280
UDC	19x10.5	35/25/12	5/120	—	¥156,600
DC	20x9.5	38/25/12	5/120	—	¥165,240
DC	20x10.0	35/25/18	5/120	—	¥196,560
UDC	20x10.5	32/23	5/120	—	¥171,720
UDC	20x11.0	30	5/120	—	¥173,880

※DC=Deep Concave・UDC=Ultra Deep Concave (最も深い)



豊富なサイズとカラー設定を誇るグノシスFMB01の20インチ、バグつきが抑えられるというノーマルM3/M4のホイールと異なり、高い縦断安定性が得られるはず、とBMWパフォーマンスも大賛同。

